

2015年8月号

8月15日(土)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No. 227



夏の終わり…

7月終わりから8月の始めにかけて気温が高く、8月5日には鶴居村で最高気温33.6℃を記録しました。本格的な夏の到来を感じましたが、翌日の最高気温は23.1℃と一気に10℃以上も低下。その後は曇りがちで気温の低い日が続いています。釧路湿原の一瞬の夏が過ぎ、湿原では早くも秋の花が咲き始めました。

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内探勝木道周辺の植物～



【ツリフネソウ】
ツリフネソウ科 釣舟草
ハンノキ林内やヨシ・スゲ
湿原で見られます。淡い紫
色の舟形の花がぶら下がっ
ているのでこの和名が付き
ました。一年草



【ホソバアカバナ】
アカバナ科 細葉赤花
ヨシ・スゲ湿原の木道沿い
で小さな花を咲かせていま
す。花卉の先がへこんでい
たり、めしべが棍棒状であ
ったり、とても個性的な花です。



【ドクゼリ】
セリ科 毒芹
毒草として全国的に有名
で、木道沿いのあちこちで
見られます。この花に集ま
る小さくてきれいなチョウ
にも注目です。



【トウヌマゼリ】
セリ科 唐沼芹
木道沿いで普通に見られ、ド
クゼリとよく似ていますが、
葉の形が違うので見分けら
れます。並んで咲いている
ので見比べてみてはいかが。



【クサレタマ】
サクラソウ科 草連玉
マメ科の低木のレダマに似
ていることから和名が付け
られたといえます。
※クサレタマはマメ科では
なくサクラソウ科



【ハンゴンソウ】
キク科 反魂草
鶴居軌道跡で見られます。
お盆の頃に咲き、葉の形が
魂を手招きしている手のよ
うに見えることから和名が
付いたといわれます。

○表紙の写真 上：サワギキョウの群落 中右：ミツモトソウ 中左：アオジ(幼鳥) 下：カラスヘビ(シマヘビの黒化型)

～温根内探勝木道周辺の野鳥～

木道周辺では鳥たちの子育てが始まり、きれいなさえずりの声を聞く機会が減り、野鳥を見つけることが難しくなりました。それでもよく探すと、今年生まれた夏鳥の幼鳥が立派に成長し、秋の長い渡りに備えて虫を捕らえ、栄養を蓄える姿を見ることができます。ビジターセンターでは双眼鏡を無料で貸し出しています。お気軽にご利用ください。



【アオジ（幼鳥）】 夏鳥
ホオジロ科 青鷗
アオジの幼鳥も8月になるとかなりたくましくなり、自分で昆虫などの餌を捕って秋の渡りに向けて栄養を蓄えています。



【オオジュリン（幼鳥）】
ホオジロ科 大寿林 夏鳥
朝夕に木道上で餌を探す姿が見られます。幼鳥はメスとよく似ていて、成鳥のオスのように頭から首にかけて黒くありません。



【コサメビタキ（幼鳥）】
ヒタキ科 小鮫鷗 夏鳥
目立たないが、大きな目がかわいいコサメビタキの幼鳥は鶴居軌道跡で必死に親鳥を追いかけて餌をねだっていました。



【コゲラ】 留鳥
キツツキ科 小啄木鳥
留鳥のコゲラは子育て中でした。色の淡いヒナが親鳥について回り、しきりにエサをせがむ可愛らしい姿が見られました。

○温根内探勝木道周辺で観察された花（7月15日～8月14日）※和名は五十音順

■アカネムグラ■アキカラマツ■アキノウナギツカミ■イケマ■イチゲフウロ■イヌタデ■イワアカバナ■ウツボグサ■ウド■ウマノミツバ■エゾイチゴ■エゾイヌゴマ■エゾイラクサ■エゾオオヤマハコベ■エゾゴマナ■エゾシロネ■エゾタツナミソウ■エソトリカブト■エゾナミキ■エゾノカワチシャ■エゾノコギリソウ■エゾノシモツケソウ■エゾノヨロイグサ■エゾノレンリソウ■オオウバユリ■オオカサモチ■オオダイコンソウ■オオバコ■オオバセンキュウ■オオハナウド■オオバナヤエムグラ■オトギリソウ■オニノヤガラ■カタバミ■ガマ■カラフトノダイオウ■キクムグラ■キツネノボタン■キツリフネ■キンミズヒキ■クサフジ■クサレダマ■クロバナロウゲ■コウソリナ■ゴキツル■コクワ（サルナシ・木本）■コハコベ■コメツブツメクサ■サウギキョウ■シオガマギク■シロイヌナズナ■シロツメクサ■セイヨウタンポポ■セリ■タチギボウシ■タヌキモ■チシマアザミ■チドリケマン■ツメクサ■ツリフネソウ■トウヌマゼリ■トキソウ■ドクゼリ■トモエソウ■ナガボノシロワレモコウ■ナズナ■ネジバナ■ノハラムラサキ■ハナタデ■ハンゴンソウ■ヒメジョオン■ヒメナミキ■ヒヨドリバナ■ヒロハヒルガオ■ヘラバヒメジョオン■ホザキシモツケ（木本）■ホソバアカバナ■ホソバイラクサ■ホソバノヨツバムグラ■ミカツキグサ■ミズ■ミズオトギリ■ミソガワソウ■ミソソバ■ミツバ■ミツバフウロ■ミツモトソウ■ミミコウモリ■ミヤマアキノゲシ■ムラサキツメクサ■メマツヨイグサ■モウセンゴケ■ヤブジラミ■ヤブハギ■ヤブマメ■ヤマハギ（木本）■ヤマハハコ■ヨブスマソウ

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥（7月15日～8月14日）※和名は日本鳥類目録第7版の順

■キジバト■アオバト■オオヨシゴイ■アオサギ■タンチョウ■クイナ■ツツドリ■カッコウ■トビ■ノスリ■コゲラ■アカゲラ■チゴハヤブサ■モズ■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■ヒガラ■シジュウカラ■ショウドウツバメ■ヒヨドリ■ウグイス■エナガ■エゾムシクイ■センダイムシクイ■マキノセンニユウ■シマセンニユウ■コヨシキリ■ゴジュウカラ■キバシリ■ムクドリ■ノゴマ■ノビタキ■コサメビタキ■キビタキ■オオルリ■ピンズイ■カワラヒワ■ベニマシコ■アオジ■オオジュリン

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺に咲いている花を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

☆☆☆☆☆自然ふれあい行事が開催されました☆☆☆☆☆



○「ホタルウィーク」7月15日(水)～19日(日)
 参加者数：205名(5日間合計) 講師：杉山伸一 若山公一
 5日間の日程で行われたホタルウィークは最初にホタルのレクチャーを受けてから野外で観察します。初日は気温が低く、出現は今一つでしたが、2日目を降は気温が回復し、順調に出現してくれました。オスとメスの点滅の違いなどをじっくりと観察し、湿原内でほのかに光るヘイケボタルを楽しみました。



○「夏の湿原花ハイク」8月2日(日) 参加者数：12名
 植物の専門家の高嶋八千代氏を講師に、夏の湿原の花を楽しみました。開発などにより面積を減らしてきている湿原には貴重な植物が多いという話から始まり、ツリフネソウやミソソバの花の仕組み、サワギキョウの受粉方法の工夫、厳しい環境で生きるタヌキモの戦略、モウセンゴケの花、咲き始めたエゾトリカブトなど盛りだくさんの内容で、参加者は盛夏の湿原を存分に楽しみました。

☆☆☆☆☆温根内イベントカレンダー(9月)☆☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申込み☎0154-65-2323

- ♪初秋の湿原花ハイク：10：00～12：00(定員15名) ♪PV 定点解説：午前中(定員なし)
- ♪無料GW：10時～、14時～(1日2回開催、定員10名、申込不要、定員になり次第締め切り)
- ♪PV 定点解説：パークボランティアが木道の数カ所所で定点解説を行います。申し込み不要・定員無し

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5 無料GW
6 無料GW	7	8 休館日	9	10	11	12 無料GW
13 初秋の湿原花 ハイク	14	15 休館日	16	17	18	19 PV 定点解説
20 無料GW	21 無料GW	22 臨時開館 無料GW	23 無料GW	24	25	26 無料GW
27 無料GW	28	29 休館日	30			

○塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと) ⇒お申し込み☎015-487-3003

♪針穴写真講座

〔日時〕9月5日(土) 10：00～15：00 〔定員〕8名(小学生は保護者同伴)
 〔参加費〕500円(材料費) 〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

～スズメバチにご注意を!～



クロススズメバチの仲間

8月から9月はスズメバチが活発に活動する時期です。木道を歩く際には黒い服装をできるだけ避け、匂いの強い香水も控えるようお願いします。

月刊 温根内通信 No.227

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター
 〒085-0036 北海道阿寒郡鶴居村字温根内
 Tel：0154-65-2323 Fax：0154-65-2185
 E-mail：ovc@hokkai.or.jp
 ホームページ：http://city.hokkai.or.jp/~kkr946/

Facebook：温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間：10：00～17：00(11月～3月は16：00まで)
 休館日：毎週火曜日(12/29～1/3は休館) 入館無料